

名称等 平成 30 年度 第 45 回市民意識調査結果報告書を作成しました。
担当 企画部 広報広聴課 市民相談センター
直通 055-934-4702 内線 2266

1 内容

平成 30 年度市民意識調査の結果を、別添報告書としてまとめましたのでお知らせします。

2 目的・理由

市民生活の現状や市民意識、行政に対する要望や関心度を把握し、今後の市政運営の基礎資料を得る目的で実施しました。

3 調査内容

今年度は、「市政情報の広報」、「公園管理・緑化推進」、「沼津港みなとまちづくりの推進」、「男女共同参画」、「沼津市の寿司食」、「沼津市の地震、津波対策」、「沼津のまちづくり」について調査しました。

(1) 調査の設計

- ① 調査区域 沼津市全域
- ② 調査対象 満 18 歳以上の市民 2,100 人
- ③ 抽出方法 住民基本台帳データから等間隔無作為抽出
- ④ 調査方法 郵送及びインターネットによる回答
- ⑤ 調査期間 平成 30 年 6 月 19 日(火)～7 月 2 日(月)

(2) 回収結果

- ① 発送数 2,100 人
- ② 回収数 1,095 人
- ③ 配達不能数 6 人
- ④ 未回収数 999 人
- ⑤ 回収率 52.3 %

4 調査結果

詳細結果は別添報告書をご覧ください。

調査結果について、担当による分析を一部ご紹介いたします。

① 「沼津港みなとまちづくりの推進」に関する設問について

沼津港のイメージについて伺ったところ、「沼津の新鮮な魚介類が楽しめる飲食店街」が74.8%という結果となりました。

一方で、将来沼津港に必要なものについては、「カフェや親水緑地(緑ある広場や遊歩道)等、休憩施設を整備して来港者が安らげる場を充実させる」が51.5%という結果となりました。本調査より、沼津港に対して市民がどのようなイメージを持ち、また何を期待しているかを把握することができましたので、今後の沼津港整備に活かしていきたいと考えます。

② 「男女共同参画」に関する設問について

LGBTという言葉の認知度について伺ったところ、50.7%の市民に認知されている結果となりました。

一方で、LGBTの方に対する考えについては、「配慮は必要だと思うが、どういう配慮をする必要があるかわからない」が36.4%と、LGBTという言葉は知っているが、当事者に対する具体的な配慮についてはわからないと考える市民が多いことがわかりました。

5 報告書(別添のとおり)

① 作成部数 250冊 販売はいたしません。

② 配布先 市役所2階市民相談センターほか、各市民窓口事務所、市立図書館等の施設
※なお、この報告書につきましては11月26日(月)より市ホームページでもご覧いただけます。

6 経緯・経過

本調査は、昭和49年度に産業優先から生活優先へと価値観の転換が求められた社会背景の中で、市民の意思を反映した行政やより良い施策を図るための基礎的な資料を収集する目的で第1回目の調査を実施して以降、毎年度実施しているものです。